

福州市友好都市提携 45 周年記念訪問団報告書

長崎市議会議員	五輪	清隆
長崎市議会議員	梅原	和喜
長崎市議会議員	木森	俊也
長崎市議会議員	林	広文
長崎市議会議員	福澤	照充

1 訪問目的

多くの長崎華僑の出身地である福州市との友好都市提携から 45 周年を迎えることから、公式訪問団を派遣し、これまでの交流の確認を行うとともに、記念行事への出席や技術交流などを通じて相互理解を図ることなどにより、さらなる関係強化と交流促進につなげる。

2 訪問期間

令和 7 年 11 月 10 日（月）～11 月 14 日（金） 5 日間

3 訪問都市

中華人民共和国 福建省福州市、上海市

4 訪問団構成 18 人

県訪中団から途中合流 5 人（市長、議長、国際課 2 人（うち通訳 1 人）、議会事務局 1 人）

福州市のみ訪問 13 人（議員 6 人、水産農林部 3 人、議会事務局 1 人、上下水道局 2 人、国際課 1 人）

5 福州市の概要と交流

(1) 福州市基礎情報

面 積 11,968 平方キロメートル

人 口 約 850.1 万人

特 色 歴史文化都市として現在に至るまで 2100 年の悠久の歴史があり、唐朝以来、福建省の政治、経済、文化の中心。四季を通じて緑が豊かで、霜や雪はまれである。主な産業は電子、機械、化学工業、紡績、軽工業、食品、靴製造等である。

(2) 友好都市提携

提携日 1980（昭和 55）年 10 月 20 日

経緯 多くの長崎華僑の出身地で歴史的なつながりがある。中日友好の船「明華号」の長崎訪問の際に、中日友好協会会長に要望書を提出、歴史的なつながりをもとに提携を行った。

6 日程

日付	地名	時刻	交通機関	用務等
11/10 (月)	長崎	13:20	MU520	午後、空路にて上海へ
	↓			(上海浦東空港・第 1 ターミナル到着)
	上海	14:15	航空機	到着後、入国手続(指紋認証)・乗継手続き
	上海	16:05	MU5599	その後、空路にて福州へ
	↓			(浦東空港・第 1 ターミナル出発)
	福州	17:55	航空機	到着後、専用車にて福州市内へ
	福州	18:25	専用車	宿泊ホテルへ移動
		19:20		福州市外事弁主催夕食会
11/11 (火)	福州	08:30	専用車	福州市海洋・漁業技術センターへ移動
		08:40		水産交流協議書調印式 【於：福州市海洋・漁業技術センター】
		09:30	専用車	その後、国潮博物館へ
		10:15		福州鑑賞金魚の栽培技術、金魚養殖基地見学 【於：国潮博物館】
		12:00		昼食（閩侯県手配）
		13:30	専用車	洋里下水処理場へ移動
		14:00		洋里下水処理場視察
		15:00	専用車	飛鳳山浄水場へ移動
		15:35		飛鳳山浄水場視察
		16:25	専用車	福州水質検測有限公司へ移動
		16:35		水質監視所の運営状況視察、技術交流
		18:00		福州市水務集団主催夕食会
		20:00	専用車	宿泊ホテルへ移動

日付	地 名	時 刻	交通機関	用 務 等
11/12 (水)	福 州	09:00	専 用 車	煙台山歴史的景観地区へ移動
		09:20		煙台山歴史的景観地区見学
		10:20	専 用 車	上下杭歴史文化町へ移動
		10:35		上下杭歴史文化町見学
		12:00		昼食（台江区手配） 【市長一行合流】
		15:00	専 用 車	三坊七巷へ移動
		15:30		三坊七巷見学
		17:00	専 用 車	表敬訪問会場「于山堂」へ移動
		17:30		福州市長表敬訪問
		18:00		福州市主催歓迎夕食会
		20:00		宿泊ホテルへ移動
11/13 (木)	福 州	09:00	専 用 車	福清黄檗山万福寺へ移動
		10:00		福清黄檗山万福寺見学
		11:00	専 用 車	空港へ移動
		12:10		福州長楽空港到着
	福 州 ↓ 上 海	13:25	MU5600	空路にて上海へ (上海浦東空港・第1ターミナル到着)
		14:55	航 空 機	
		15:30		到着後、専用車にて上海市内へ
		16:30	専 用 車	上海一網鮮へのトップセールス 相手方：ワンフレッシュ 代表王氏 上海漁業関連事情説明（資料） 相手方：一般社団法人長崎県貿易協会上海代表処 【於：上海国際貿易中心 35 階】
				終了後、夕食
				夕食後、南京路散策
				散策後、専用車にてホテルへ
11/14 (金)	上 海 ↓ 上 海 ↓ 長 崎		専 用 車	朝食後、専用車にて空港へ
		09:45 12:25	MU519 航 空 機	午前中、空路にて長崎へ (上海浦東空港・第1ターミナル出発)

7 水産技術交流

(1) 技術交流の経緯

1980（昭和 55）年に長崎市と福州市は友好都市提携以来、双方の協力によって、水産分野の友好交流は年々深まり、両市の重要な交流事業となっている。

これまで両市の水産分野での相互訪問は 49 回におよび、うち長崎市から福州市への訪問団の派遣は 20 回、福州市から長崎市への訪問団の派遣は 29 回となっている。両市は技術交流、優良品種の相互寄贈及び研修生の相互派遣などを行い、実績を重ねてきた。長崎市から福州市にクロアワビ親貝の寄贈を契機に、福州市において品種改良を行い、成長が早く病気に強いハイブリッドアワビを開発したことにより、福州市のアワビ養殖業は飛躍的に発展した。

福州市から長崎市に寄贈したコンブ種苗やハイブリッドアワビは、長崎市の増養殖の技術開発に寄与している。

また、両市の水産研修生の相互派遣は、技術交流を促進するばかりでなく、相互の理解と友情を深めてきた。長崎市に派遣された水産研修生は、研修終了後、それぞれの勤務先で、優良品種の導入、育苗技術開発などの分野で実績をあげ、中堅幹部として活躍している。

8 水道技術交流

(1) 技術交流の経緯

水道技術交流は、1990（平成 2）年、当時の福州市長 洪 永世（ほん よんしゅ）が来崎、水道施設を見学し、福州市と長崎市との水道技術交流が協議されたことがきっかけである。

翌 1991（平成 3）年 11 月、長崎市から 3 名の技術交流訪問団が福州市を訪れ、福州市と長崎市の水道技術交流が始まった。

今年で水道技術交流は 34 年目を迎えたが、この間 13 回、延べ 44 名の長崎市職員が福州市を訪問し、福州市からも 11 回、延べ 40 名が長崎市を訪問した。時機に応じた意見交換を行うことで、互いの水道技術の向上に寄与してきた。

9 福州市での主な行事内容

(1) 福州市海洋・漁業技術センター視察・水産交流協議書調印式【11 月 11 日（火）】

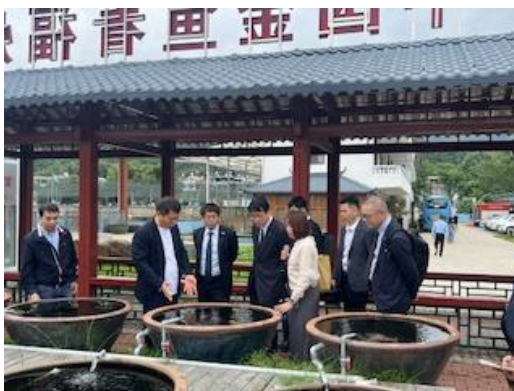
福州市は、水産加工品の生産量が中国全土で第 2 位、漁獲量は 30 年連続第 1 位で、特産品としては、アワビ、鰻、金魚等があり、当センターは漁業の研究や技術の普及等の役割を果たしているとのことであった。

施設の視察後、長崎市水産農林部長及び福州市漁業局長における水産交流協議書調印式が行われ、両市の水産分野における協力をより一層促進するための共通認識が確認された。



(2) 国潮博物館及び金魚養殖基地視察【11月11日（火）】

国潮金魚博物館には、福州市の無形文化遺産である観賞用金魚の飼育技術に係る展示及び観賞用金魚が展示・販売されていた。潘氏金魚養殖場は、この地域にある多くの金魚の養殖場の中で一番大きい養殖場であり、約67万平方メートルの敷地内にいくつもの槽があり、金魚の養殖がおこなわれていた。





(3) 水道関連施設視察【11月11日（火）】

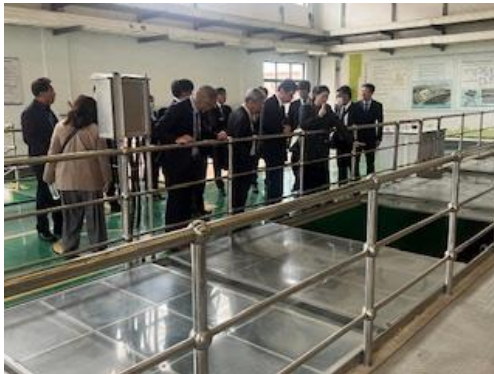
洋里下水処理場・飛鳳山浄水場・水質監視所

洋里下水処理場：敷地面積 35ha、1日の処理能力 60 万 m^3

福建省内最大の下水処理場で本市の西部下水処理場の約 7 倍の処理能力に相当

飛鳳山浄水場：1日の処理能力 30 万 t

福建省内最大の浄水場で手熊浄水場の約 4 倍の浄水能力に相当
福州市において、浄水の過程で生じる活性炭汚泥について、高熱処理し再利用が図られている点、また、浄水処理の過程において膜ろ過方式を採用している点について、本市としても参考にできるとのことであった。



(4) 福州市内視察【11月12日（水）】

煙台山歴史的景観地区、上下杭歴史文化町、三坊七巷

【煙台山歴史的景観地区】

- ・旧福建税関税務署長官邸見学
- ・旧米国領事館跡地アートスペース見学

アヘン戦争後の開港（1861年）に伴い、多くの領事館が建設され、現在はその建物が博物館や資料館、カフェやレストランとしてリノベーションされている。

【上下杭歴史文化町】

- ・無形文化財博物館見学

川を挟んだ通りは、かつて商業と貿易で栄えた地区であり、伝統的な建築物が多く見られた。建物の一部は当時のまま残されており、商人の暮らしの様子を想像することができた。

【三坊七巷】

- ・黄港（小黄楼）見学歴史文化地区見学

市街地の中心に位置し 907 年～960 年の時期に形成された街で、南北の通りを中心に、西側に三坊、東側に七巷が配置されている。坊は役人や文化人等が多く住み、巷は庶民が住んでいた下町だったとのこと。明・清朝時代から現在まで続く街並みの中にも、お土産店やカフェなどの現代的な飲食店が景観に馴染んだ外観で立地されており、多くの観光客で賑わっていた。



(5) 福州市長表敬【11月12日（水）】

福州市長より、福州市と長崎市は唐の時代から交流を行い、福州の人々が長崎の新地中華街を作る中心となった。そのような友好関係をこれからも深めていきたいとの話があり、長崎市長からは、今年2月のランタンフェスティバルに福州閩劇（びんげき）芸術伝承発展センターの皆様に出演いただいたことや、5月にドラゴンボートレース大会に長崎のペーロンチームが出場し、国際部門で3位入賞の結果を得ることができたこと、また、8月には長崎の中学生が福州を訪問し、同年代の方々との交流したことなどをあげ、このような機会をいただいたことに対する感謝を示した。



(6) 福州市主催歓迎夕食会【11月12日（水）】

円卓のテーブルクロスには長崎市と福州市のマークが印刷されており、福州市の特産品であるジャスミン茶や仏跳牆（中国の伝統的なスープで、アワビ、干し貝柱などの魚介類を煮込み、その匂いに修行僧も壁を飛び越えて来るといわれる。）等で、もてなしていただいた。



(7) 福清黄檗山万福寺見学【11月13日（木）】

万福寺は、日本の黄檗宗の開祖である隠元禅師が修行し、住職を務めた日本にもゆかりの深い寺院で、境内には隠元禅師の功績を称えるために建立された記念碑や、日本の黄檗宗が行った復興支援や寄付の功績を記録した石碑などがあり、隠元禅師の功績の大きさと日本と中国のつながりの深さを知ることが出来た。



(8) 上海漁業関係者へのトップセールス【11月13日（木）】

場所：上海国際貿易中心（上海市）

現地のパートナー企業である、ワンフレッシュ王社長と面会し、王社長より、日本産水産物の輸出が停止するまでの間は、2005年以降、長崎鮮魚の普及のため、長崎魚市と連携し、取組みを行ってきた。そのことにより、中国の消費者に受け入れられ、中国国内110都市、2400店舗以上に販路が広がったと説明があった。また、今後とも長崎鮮魚の普及のため、協力していきたいとの話があった。



(9) 上海市内視察【11月13日（木）】

南京路視察 南京路視察

夕食後、徒歩で南京路へ移動し、上海の中心街を視察した。通りの両側に歴史的な建物と現代的な建物が混在し、ライトアップされ、夜景がとても華やかだった。夜の時間帯にも関わらず外国人観光客も含め、多くの人で賑わっていた。

